

株主の皆様へ

第68期中間事業のご報告

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



福留ハム株式会社

証券コード2291

CONTENTS

株主の皆様へ.....	1
当中間期の概況.....	2
セグメント別の概況.....	3
セグメント別売上高.....	3
通期の見通し.....	4
中間連結財務諸表.....	5
会社概況.....	8
株式概況.....	9



代表取締役社長 中 島 修 治

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。平素は格別のご支援を賜わりあつくお礼申しあげます。

ここに第68期中間事業のご報告をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜わりますようお願い申しあげます。

平成30年12月

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益の好調の持続や雇用・所得環境の改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移したものの、貿易摩擦激化への懸念が高まっているほか、原油価格の上昇、さらには台風・豪雨等の相次ぐ自然災害も重なり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、創業100周年に向けて経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続してまいりました。

販売に関しましては、「JAS特級あらびきポークウインナー」のCM放映を継続し、販売強化を図るとともに、商標登録ブランド「ロマンティック街道」シリーズに加え、オリジナル商品「花ソーセージ」などの重点商品の販売に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、競合他社との価格競争の激化や西日本豪雨災害等の自然災害の影響などにより、128億33百万円(前年同期比2.1%減)となりました。利益につきましては、国内牛肉相場の高値継続や製造コスト、物流コスト等の上昇などにより、営業損失は54百万円(前年同期は営業利益1億7百万円)、経常損失は33百万円(前年同期は経常利益1億26百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失は43百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益1億54百万円)となりました。

セグメント別の概況

●加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向が続くなか、CM放映の効果による「JAS特級あらびきポークウインナー」や厚みにこだわり、ふっくらジューシーに仕上げた新商品の「肉厚ハンバーグ」が堅調に推移いたしましたが、全体の落ち込みをカバーするまでには至らず、売上高は減少いたしました。利益面におきましては、原材料価格の上昇や動力費等、製造コストの上昇により前年同期を下回りました。

その結果、売上高は57億22百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

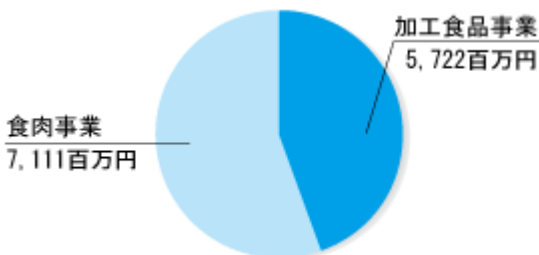
●食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛肉は、生産頭数の減少による高値継続のなか、市場ニーズに合った商品提案をおこない、売上高、販売量とも微増となりました。国産豚肉は、国内豚肉相場の変動や競争激化により売上高、販売量とも減少いたしました。輸入ミートにおきましては、輸入牛肉、輸入豚肉とも国産牛肉、国産豚肉からの代替需要はありましたが、競争激化により売上高、販売量とも減少いたしました。また、西日本豪雨災害や台風等の被害による物流面の影響や消費の縮小などもあり食肉事業全体として売上高、販売量とも減少いたしました。

その結果、売上高は71億11百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

セグメント別売上高

区 分	売 上 高	構 成 比	前年同期比
加工食品事業	5,722百万円	44.6%	△1.2%
食 肉 事 業	7,111百万円	55.4%	△2.7%
合 計	12,833百万円	100.0%	△2.1%



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、景気の動向は依然として先行き不透明であり、原材料や動力費等の製造コストの上昇、企業間競争の激化や雇用問題等により厳しい状況で推移するものと予測されます。

このような状況のなか、当社グループは、加工食品事業における新商品の開発強化、商標登録ブランド「ロマンティック街道」シリーズやオリジナル商品「花ソーセージ」など既存主要商品の販売に注力するとともに、情報誌「ザ・プレミアムブック」の継続発刊、また新ブランドとして昴ブランド「J A S 特級あらびきポークウインナー」のテレビCM放映等により、さらなる認知度の向上に努めてまいります。また、ギフト販売におきましても、ローストビーフをはじめとした製品ラインアップの拡充と販売強化を図り、新規顧客拡大に努めてまいります。さらには、作業効率の改善や仕入の見直し等の業務の効率化を重視し、生産性向上に努め、さらなるコスト削減努力を図るほか、当社グループのモットーであります「安心・安全」な商品造りに注力してまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高は260億円（前期比0.2%減）、営業利益は70百万円（前期比64.1%減）、経常利益は1億10百万円（前期比50.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は80百万円（前期比61.2%減）を予定しております。

中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成30年9月30日現在	平成29年9月30日現在	平成30年3月31日現在
資産の部			
単位：百万円			
流動資産	6,956	8,030	7,487
固定資産	10,855	9,916	10,072
有形固定資産	7,395	6,633	6,666
無形固定資産	40	65	53
投資その他の資産	3,419	3,217	3,353
資産合計	17,811	17,947	17,559
負債の部			
流動負債	8,041	8,234	7,913
固定負債	3,073	3,161	2,931
負債合計	11,114	11,395	10,845
純資産の部			
株主資本	5,546	5,588	5,640
資本金	2,691	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503	1,503
利益剰余金	1,431	1,473	1,525
自己株式	△80	△79	△80
その他の包括利益累計額	1,150	962	1,073
その他有価証券評価差額金	1,224	1,076	1,158
退職給付に係る調整累計額	△74	△114	△84
非支配株主持分	0	0	0
純資産合計	6,697	6,551	6,714
負債及び純資産合計	17,811	17,947	17,559

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結損益計算書

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
単位：百万円			
売上高	12,833	13,105	26,040
売上原価	10,538	10,654	21,182
売上総利益	2,295	2,450	4,858
販売費及び一般管理費	2,350	2,342	4,662
営業利益又は営業損失(△)	△54	107	195
営業外収益	70	65	124
営業外費用	48	46	97
経常利益又は経常損失(△)	△33	126	222
特別利益	-	120	120
税金等調整前中間 (当期)純利益又は 中間純損失(△)	△33	246	342
法人税、住民税及び 事業税	9	92	125
法人税等調整額	0	△0	10
中間(当期)純利益又は 中間純損失(△)	△43	154	206
非支配株主に帰属する 中間純利益又は中間純損失(△)	0	0	△0
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	△43	154	206

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期	前中間期	前 期
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
単位：百万円			
営業活動によるキャッシュ・フロー	89	140	379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,022	△229	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	98	△230	△371
現金及び現金同等物の増減額	△833	△319	△483
現金及び現金同等物の期首残高	3,116	3,600	3,600
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	2,282	3,281	3,116

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

会社概況

●会社概要

(平成30年 9 月30日現在)

設 立	昭和33年 3 月22日
資 本 金	26億9,137万円
従 業 員 数	連結398名
本 社	広島市西区草津港二丁目 6 番75号
営 業 部	福岡営業部・広島営業部・岡山営業部 関東営業部・関西営業部
支 店	山 口・松 山・高 松・北九州 佐 賀・大 分・熊 本
営 業 所	呉 ・松 江・広島北・徳 島 長 崎・熊本南・鹿児島・宮 崎
工 場	広 島・熊 本
直 販 店 舗	外食：(焼肉一番団楽) 千田店・草津南駅前店 L E C T 店 精肉： 到津店・砂津店・太宰府店

●役 員

(平成30年 9 月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	福 中	原 島	康 修	彦 治
代 表 取 締 役 社 長	福 國	原 房	治 博	彦 幸
代 表 取 締 役 副 社 長	目 草	貫 場	博 啓	治 行
取 締 役 副 社 長	砂 田	孝	利	誠 司
専 務 取 締 役	原 越	智 野	千	秋
常 務 取 締 役	中			
常 務 取 締 役				
取 締 役				
取 締 役				
取 締 役				
常 勤 監 査 役	吉 明	田 石	裕 嘉	二 典
常 勤 監 査 役	白 立	井 岩	公	哉
監 査 役				弘

株式概況（平成30年9月30日現在）

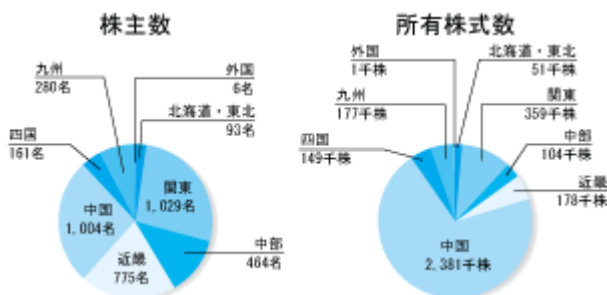
●株式の状況

- ① 発行済株式の総数 3,337,275株
（自己株式62,725株を除く。）
- ② 株主数 3,812名

●大株主

株主名	大株主の当社への 出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社福留興産	1,042	31.25
福栄会	327	9.81
福原康彦	129	3.89
中島修治	76	2.30
株式会社フジ	63	1.89
株式会社もみじ銀行	62	1.87
福原治彦	61	1.83
株式会社広島銀行	48	1.45
株式会社伊予銀行	46	1.39
株式会社福岡銀行	46	1.39
株式会社西日本シティ銀行	46	1.39

●地域別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要あるときは、公告して定めた日
剰余金配当株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 (アドレス http://www.fukutome.com) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 貸借対照表および損益計算書については、 EDINET に掲載いたしております。
株式事務取扱場所	
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先	〒168-8620
お問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (各種届出用紙のご請求・其他のご照会) ☎0120-707-843
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 証券コード (2291)
単元株式数	100株